

2008年6月2日

諫早開門問題に係る農水省提出要請資料

公共事業チェック議員の会

流速問題と施設の安全性について

1. 5月22日付け農水省提出「資料」④（短期開門調査の海水導入を行った際の開度と水門直下の平均流速計算値が提出できない理由）において、海水導入の際には平均流速が計算できず排水時は可能とする理由の再説明、その際の実測値データ（測定を行った正確な位置、計測方法を含む）と事前の流速予測分布図、資料⑤で示された予測最大流速値（0.5m/s～0.7m/s）と実際には大きな違いが生じた理由の説明
2. 上記実測データとその分析結果を短期開門調査報告書に掲載しなかった理由
3. 前回要求資料の4

開門の漁業への影響について

4. 前回要求資料の7。短期開門調査中に湾内のアサリと魚類に被害が及んだと認定する際の根拠とした「開門調査に伴う事前・事後調査委託事業報告書」（個人名等個人情報に関わる部分は黒塗りで可）、および湾内4漁協別のアサリ・魚類の漁獲統計（農林水産統計及び長崎県調べの統計）
5. 上記4に係る漁業補償問題（学習会の席上、漁業被害発生の有無に関わらず、補償金を支払うとの事前の合意があったとする発言）について、九州農政局に対する調査結果

調整池の機能と防災効果について

6. 前回要求資料の10

有明海異変の解明について

7. 前回要求資料の13
8. 前回要求資料の15

農業水源について

9. 調整池を継続利用する場合のメリット・デメリット、費用（水質保全計画に係る費用を含む）、および漁業者側提案になる4代替案についてのメリット・デメリット、費用見積もり

干拓地農業の問題について

10. 干拓地において現在作付中、もしくは作付けが計画されている全品目の、過去10年間の長崎県内における出荷量と売値のデータ

以上